

# LLブックリスト

マルチメディアイジュー図書入手先一覧付

近畿視覚障害者情報サービス研究協議会  
LLブック特別研究グループ／編

平成25年3月現在

## 【目次】

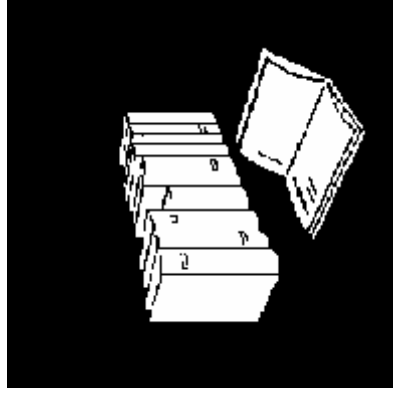
- LLブック特別研究グループの活動とブックリストの作成……………3
- 知的障害者と読書……………5
- 学習障害者と読書……………7
- リストの見かた、資料の入手方法について……………9
- LLブックリスト  
読みもの、その他……………11  
育成会、当事者団体等の発行物……………14  
国、自治体等の発行物……………18  
辞書……………18
- マルチメディアデジタル図書入手先一覧……………19

- ◆ 当委員会に、LLブック、マルチメディアDAISYに関する情報・ご意見をお寄せください。

【メールアドレス】a-hat@lnetk.jp

- ◆ このブックリストは以下のURLからもダウンロードできます。

[http://homepage2.nifty.com/  
at-htri/ll-book.htm](http://homepage2.nifty.com/at-htri/ll-book.htm)



ピクトグラム【本】

※ 本文中のイラストは「日本版PIC シンボル」を使用させていただきました。

## ＬＬブック特別研究グループの活動とブックリストの作成

服部 敦司

近畿視覚障害者情報サービス研究協議会（近畿視情協）は、近畿圏の点字図書館と公共図書館等で構成される組織である。３０年余りに渡って、視覚障害者への図書館サービスについて、相互協力のあり方や調査研究、技術研修等の幅広い活動を行ってきた。

２００７年度、これまで近畿視情協が蓄積してきた視覚障害者サービスの知識やノウハウを他の読書障害者へのサービスに応用できないものかという思いから「ＬＬブック特別研究グループ」を設置し、活動を開始した。研究テーマは「図書館サービスとＬＬブック（わかりやすく、読みやすい本）の提供 ～視覚障害者サービスの実績とノウハウをＬＤやディスプレイシアへのサービスへ～」とし、「視覚障害者サービス」の実績を学習障害者や読み書き障害者、知的障害者等の情報環境の改善に結びつけ、図書館の「障害者サービス」の多様化に対応する、というのが目的である。構成員は図書館員だけでなく、テーマに高い見識を持つ方々に加わっていただいた。

活動の内容は以下の通りである。

### ○ ＬＬブックのリストの作成

現在入手可能なＬＬブックのリストを作り、加盟館を初め、広く公共図書館等関係機関に公開・配布し、ＬＬブックの普及を促す。リストに加え、ＬＬブックの紹介とその必要性もまとめる。

### ○ ＬＬブックの巡回展示会

上記リストに基づき、可能な限り、ＬＬブックを揃え、加盟館を中心に協力を呼びかけ、巡回展示会を実施する。

また、実施館の周辺の関係機関に協力を求め、展示会期間中に障害当事者に来館してもらい、ＬＬブックを紹介するとともに、企画と資

料を評価してもらう。また、実施館の周辺の関係機関に協力を求め、展示会期間中に障害当事者に来館してもらい、ＬＬブックを紹介するとともに、企画と資料を評価してもらう。

### ○ 読み書き障害者への録音図書の有効性について

視覚障害者用に作成された録音図書が読み書き障害児者にとって有効であるかを検討する。

それとともに、今後のマルチメディアDAISYの製作と提供における課題と問題点についても検討を行う。

そして、まず、本研究グループが手がけたのがＬＬブックのリスト作りである。これははたして、国内に知的障害や学習障害のある人が利用できる本がどのくらいあるのか確認する作業でもあった。

まず、「ＬＬ」とはスウェーデン語の「やさしく読める」という語のLattlast の略語であり、ＬＬブックの日本語訳としては、「わかりやすく読みやすい本」ということになるだろう。使用する文章や用語を平易なものにするだけでなく、イラストやピクトグラム（絵文字）等の表現を用い、レイアウトにも工夫し、「わかりやすさ」(easy to read) を追求した資料といえる。

対象は知的障害や自閉症のある人、学習障害、読み書き障害のある人等で児童に限らず、ヤングアダルトから成人までを含む。スウェーデンでは、ＬＬセンターが中心となり、「ＬＬブックガイドライン」に基づく資料の積極的な出版活動が行われている。

国内では『赤いハイヒール』（日本障害者リハビリテーション協会）『リサのたのしい一日』『山頂にむかって』（愛育社）といった翻訳書が数点出版されている。また、『ひろみとまゆこの２人だけのがいしゅつ』（清風堂書店）が障害当事者との共同により製作され、出版されている。

この他に全日本手をつなぐ育成会が年4回発行している「ステージ」も編集段階から当事者の声を取り入れながら製作されており、これも「わかりやすさ」に配慮した出版の一例といえる。このように国内では明確に「LLブック」といえる資料は皆無と言ってよいだろう。

そこで、今回のリストの作成にあたっては「LLブック」の企画に当てはまるかどうかに関わらず、「障害当事者が利用できること」を選書の基準にすることとした。したがって、本リストには基本的に障害理解の本、あるいは、支援者向けの本は掲載していない。

リストの中で目立つのが全日本手をつなぐ育成会編集の資料である。同会の長年の活動の実績を感じさせる内容と量の多さである。この他に数は少ないが、DVDや行政資料、それに「わかりやすさ」に工夫があり、知的障害のある人にも利用しやすいという意見から在住外国人向けの資料も加えている。

このリストに掲載している本は、すべて委員が手に取り、1冊ずつ自身を確認した資料である。最終的にリスト掲載図書を決める作業では多くの本が、障害当事者が読むには難しすぎる、あるいは、支援者向けの本であるという理由で次々と落選していった。徐々に減っていく候補図書の数に非常に心細くなりながら、いかに障害当事者が読んで楽しめる本が少なくなかに気づかされたものである。

また、最近リストの情報の更新を行って、多くのLLブックがすでに絶版や入手できなくなっていることに気づいた。もともと数の限られている本が、さらにその数を減らしているのである。これはとても残念なことではあるが、現実のこととして直視し、この研究会の新たな取組に繋がってほしい。

その一方で、当初LLブックとともにリストに掲載していたマルチメディアプレイヤーについてはこの数年間で徐々に取組が広がり、タイトル数も増えた。決して十分な数ではないが、このリストに掲載するために、出版

や製作情報を収集するのは困難になってきた。そこで、マルチメディアプレイヤー資料は入手先の連絡先のみを掲載することとした。

言うまでもなく、このリスト中の資料が全てではない。今後もよい資料があれば、追加していきたい。また、このリストで障害当事者が読んで楽しめる本がどんなものかを示すことで、多くの方からの情報提供を期待している。

もともとスウェーデンで考案された「LLブック」については、日本にそのままのかたちで取り入れて、受け入れられるかは検討を要するところだろう。このリストを元に日本におけるLLブックの「スタンダード」について、あらためて検討するとともに図書館にはこのリストを活用し、ぜひ知的障害や学習障害のある人へのサービスを始めてもらいたい。さらに出版社にもLLブックとそのニーズを知ってもらい、出版を手がけることでこれまで読者として認知されてこなかった知的障害や学習障害のある人の読書環境の改善にお力添えいただければと思う。

今回の私たちの取り組みが、多くの読書に障害を持つ人の可能性の広がりにつながることを切に願うものである。

# 知的障害者と読書

藤澤 和子

## 1. 知的障害者の読書へのニーズ

「ほんとうは僕は野球をもっと知るための本を読みたいと思っています」「回りの人が本を読んでいるように私も好きな本を読んでみたい」。こんなふうに、知的障害のある人たちが自己主張すれば、またその機会が与えられていれば、彼らに読みやすく書かれた本が出版され、図書館を利用する時のサービスも十分に整えられていたかもしれない。

視覚障害の人や聴覚障害の人たちが、自分の考えをはっきり述べることでできるのに比べ、知的障害の人は、自分の考えをはっきりさせるとや、そのことを人にわかるように話すことが難しい人たちが多い。彼らが読書へのニーズを持っているのかどうか、ニーズを持っているための環境があるのかさえも明確にされないまま今日まで過ぎてきたと思える。

知的障害者や自閉症の人たちの読書活動を進める会が毎年行っているセミナーで、当事者の人たちに読みたい本について発表してもらったことがある。「裁縫の仕方を知りたかったのに、読める本がなかった」「小説が読みたい」など数人が要望や経験を語られた。家族、学校や施設の指導者や支援者、図書館司書などの関係者が、そのような声を受け止めるところから、彼らが我々と同じようにあたりまえのこととして読書できる日が来ることを目指すべきであるだろう。新しい情報を得たり、物語などを読んだり見たりする楽しみは、だれもが感じることだろう。

## 2. 読書を進めるための課題と方策

彼らが平等に読書の機会を得るためには、どのような課題と方策があるだろう。

1 つには、現状では彼らがわかりやすく楽しんで読める本が少ない。さらに生活年齢と知的年齢の差が加齢にともなって大きくなるため、読

める本と読みたい本が一致しないことが挙げられる。生活年齢は毎年1歳ずつ上がるが、知的年齢は生活年齢に従って上がっていないため、その差が大きくなる。生活年齢が25歳であっても知的年齢が4歳であるとして、通常の成人が読める本は読めないという問題が起こる。4歳の子どもたちが読む絵本であれば、ひらがなが読めて内容も理解できるのであるが、25歳の人は絵本には興味をもつことはできない。生活で身につけることは多く、恋愛への興味も当然あるだろうし、テレビで見たスポーツや歌、旅行などにも、関心があるだろう。恋愛小説、スポーツ選手や試合の情報、旅行記などが読みたいとしても、彼らが自分で読んで理解できるように書かれた本が見つかからない。スウェーデンのLL協会が出版するLLブック（読みやすくなりやすい本）は、年齢を経るに従い、読める本と読みたい本に大きなギャップが出てくるという問題を解決した本だといえる。年間30冊程度出版されるLLブックは、スウェーデンでも著名な作家も参加している良質な図書である。ある程度高度な内容でもわかりやすく表現するという技術が必要とされる。知的障害のない視覚障害者や読み書き障害の人たちであれば、文字に代わる点字や大きな活字、マルチメディアDAISYを使って音声で表現するなど、障害でできないところを補うための表現媒体を変えることが読書の保障になる場合が多いが、知的障害の人には、表現媒体を考慮することに加えて、本の内容や質を保ちながらわかりやすく表現するための技術が必要である。例えば、難しい語彙、長い文章、受け身の表現や仮定法のもの表現などは使わない、写真をたくさん使う等を考慮して本を書くことが求められる。LL図書を目標として創作したりリメイクができる人や、LLブックが一般の流通に載って出版されるシステムが要る。著者と出版社を増やすためには、出された本が利益をあげなければならない。スウェーデンのLL図書の出版には、国家の補助があるが、残念ながら

日本で今それを求めるのは難しい。では、どうすれば良いだろうか。出版社が良質のLLブックを出版し、購入する人を増やすように努める企業努力が大事であることはいうまでもないが、公共図書館が積極的に購入し、LLマークが付いた本は図書館にあるというシステムができれば、著者も出版社も増えるに違いないと思う。

2 つめは、知的障害の人が読書に興味を持てるような環境を整えることが必要である。まだ彼らに合った本が少ないとしても、写真の多い雑誌なども含め、わかりやすい一般書を手に取る機会が与えられることがまずは必要である。読んだり見たりしなければ自分の好みや興味は育たない。学校教育以降の成人後の読書環境の保障は大きな課題だと思う。本が身近にある生活環境と読めない人には読み聞かせなどの支援をする体制があること、図書館の利用方法を学習できる機会を持つことなどが大切であろう。

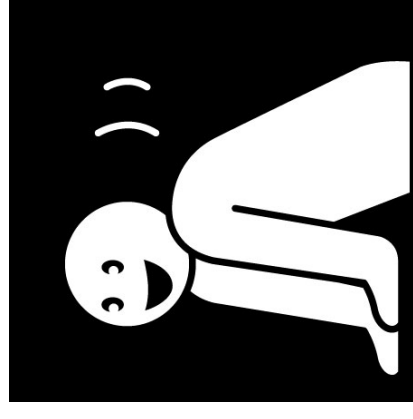
今回のLLブックのリスト作成は、知的障害者や一般の人たちにLLブックという本の分類があること、そして彼らがリストにある本を手に行き届くことを知らせるという大きな意味がある。読みやすくわかりやすい本が提供され、本のある生活環境を作るきっかけになるように、彼らに関わる人たちが、このリストを活用されることを心から願っている。

参考：読みやすい図書のためのIFLA 指針

<http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/easy/ifla.html>



ピクトグラム【読む】



ピクトグラム【おもしろい】

## 学習障害者と読書

一読む・書く・記憶するのが困難な子供と大人の読書について一

濱田 恒一

### 学習障害者の困難

学習障害者（以下 LD）は、文字と音を結びつけられず読むのに大変な時間がかかったり、字が二重に見えたり、ゆがんでいたり、ぼやけたり、読めたとしても、文字を判読するだけで時間がかってしまい、何がかわるのか内容がよくわからなかったりします。教室で、家庭で、社会で、こんな気持ちや日々味わっている子供や大人がいます。

小学校では2年生までは耳からの情報で試験の点数もそこそことれるのですが、2年生の3学期頃から、読まないといっているだけでなく、突然成績が悪くなる子がいます。家庭で漢字を100回練習しても、学校の試験では漢字が正確に書けない子がいます。仕事では、機械の操作手順が機械に貼り付けてあっても、間違えたやり方を繰り返してしまうことがあります。

文部科学省は1999年に、LDのことを以下のように定義しました。

「基本的に知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態を指すものである。LDはその原因として中枢神経系に何らかの機能障害があることが推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や環境的な要因が直接の原因となるものではない」

### LDの数

文部科学省が2012年全国の児童・生徒53,882人（小学校：35,892人、中学校：17,990人）を対象に行った「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒

に関する調査」の結果によれば、4.5%、つまりクラスに一人はそんな思いを抱えている子供たちなのです。特に読み書きに困難がある者は2.5%と報告されています。ちなみに、アメリカでは全学童の10～15%に読み書き障害の症状があるといわれています。

### LDの読書の現状

ではこうしたLDの人たちはどうやって本を読むのでしょうか。現状はきわめて厳しいです。このリストを見ればわかるように、本の数はきわめて限られています。たぶん、読み障害のある子供や大人に読書ニーズがあるという認識が、出版社にないのかもしれない。

### 読書環境への対策

まずは、リストにあげられた、読み障害に配慮された図書に触れていたただことです。LDが、読み障害に配慮された図書に触れば、自分自身のニーズを自覚することができ、合理的な配慮を訴えるのではないかと期待しています。

### 多様性への対策

録音図書を聴きながら、印字された本を読むのが好きという人がいます。「こんなに見にくいのに、すべての字にルビをふるのですか。」といっても、すべてルビがあった方がいいという人がいます。また、ルビがあると、違う字に見えるのはいやという人がいます。ルビの色が違くと読みやすいという人がいます。平仮名だけより、漢字仮名交じりの方が読みやすいという人がいます。フォントでは、明朝はだめで、ゴシックが良いという人がいます。わかちがき、広い行間、大きな文字や情報を絵にすることで読みやすくなる人がいます。

一つの方法がすべての人を満足させる訳ではありません。ただ、いろん

な形で使える図書は提供できます。マルチメディアDAISY図書(以下DAISY図書)です。

### 録音図書

LDに読みやすい読書環境を提供する上で、現状での一番の近道は、録音図書の有効利用だと考えています。膨大な録音図書があります。音を耳から入れて、印刷された本を読むというのも良い方法です。

著作権法の改正により、録音図書は広く読み障害のある子供や大人に使えるようになりましたが、録音図書の利用が広まれば、DAISY規格のような幅広いニーズに対応できる規格も普及していくと考えます。

### DAISY 図書製作活動

全国でいろいろなDAISY製作グループが、その役割を明確にしながら活動しています。小生の所属するNPO法人 NaD(ナディー、旧奈良DAISYの会)は、初等中等教育を受ける権利を保証するため、教科書をLDでも利用できるように変形することに役割を絞り込んでいます。DAISY教科書は日本障害者リハビリテーション協会を中心に、文部科学省から教科書データの提供を受け、16団体の連携で製作提供されています。一般のDAISY図書の製作提供に特化した伊藤忠記念財団も積極的に活動しています。

### 著作権法

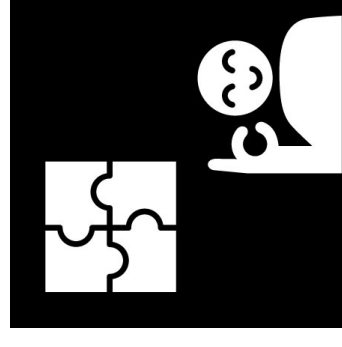
平成20年9月17日施行の「教科用特定図書普及促進法(教科書バリアフリー法)」と「著作権法第33条の2」の改正と平成22年1月1日に施行された著作権法第37条第3項の改正で、製作したDAISY図書を共有し、重複作成を回避し、かつ製品管理するためのセンターを作ることができるようになりました。現にそこにあるニーズを、LD自身が自覚し、合理的な配慮を要求することができるようになりました。LDを、視覚障害や、聴覚障害と同等の配慮されるべき障害と考え、著作権が制限されたのです。

米国の全米指導教材アクセスセンター(NIMAC <http://www.nimac.us/>)やオンラインでデジタル化された書籍がダウンロードできるBookshare(<http://www.bookshare.org/>)のようにセンターが機能すれば、DAISY図書は急速に普及し、LDの読書環境は飛躍的に向上するのではないかと期待しています。

日本障害者リハビリテーション協会を中心とするグループが提供するマルチメディアDAISY教科書 <http://www.dinf.ne.jp/doc/DAISY> や、サピエ図書館 <https://www.sapie.or.jp/> が提供するオンラインでデジタル化された書籍がダウンロードできるサービスを積極的に利用していきたいものです。

### 図書館への期待

LDの読書に対する潜在的ニーズは計りしれません。LDと読書の楽しみを共有するには、まず、著作権法の改正でLDにも利用可能になった膨大な録音図書を、LDに積極的に提供することだと思います。その上で、各図書館が一冊でもマルチメディアDAISY図書を所蔵することだと思います。LDは、LDに配慮された図書に触れるだけで幸せになるし、潜在的なニーズを顕在化させることに繋がると思います。視覚障害者等向け録音図書作成が可能な施設が公共図書館等にも拡大された現在、図書館が一人のLDにも“図書館”であることを切に期待しております。



ピクトグラム【やさしい】



## リストの見かた、資料の入手方法について

### ★ 入手先欄について

『書店』…本屋さんに注文すると、買うことができます。ネット販売（amazon等）含む。  
『大阪市図』…本屋さんに買うことはできませんが、大阪市立中央図書館が所蔵しています。  
『出版者』…出版者の欄に書いてあるところに、直接、問い合わせてください。各出版者の問い合わせ先は、下記をご覧ください。  
『備考参照』…備考欄に入手先を記載しています。

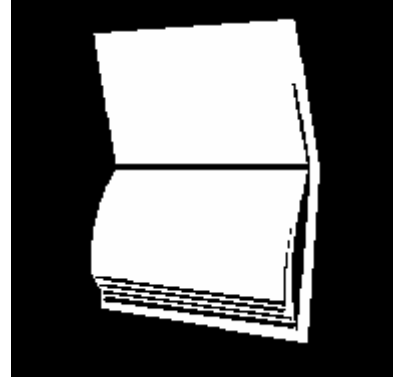
### ★ 価格欄について

税別価格を掲載しています。

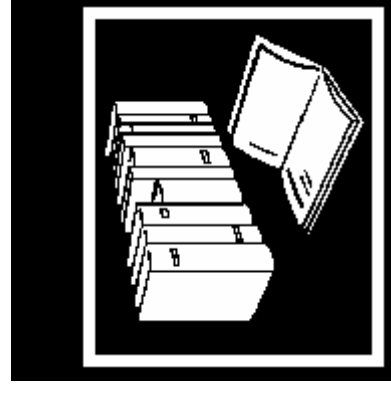
### ☆ 問い合わせ先（LLブック）（五十音順）

	名 称	住 所	電 話	ファクシミリ	U R L
1	愛育社	〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 1-4-11	(03) 3291-8600	(03) 3291-8607	<a href="http://aiikusha.co.jp/">http://aiikusha.co.jp/</a>
2	Sプランニング	〒140-0013 東京都品川区南大井 4-20-4	(03) 3766-1636	(03) 3766-1646	<a href="http://s-pla.jp/">http://s-pla.jp/</a>
3	大阪手をつなぐ育成会 （旧 大阪知的障害者育成会）	〒543-0072 大阪市天王寺区生玉前町 5-33	(06) 6771-4390	(06) 6771-4392	<a href="http://www.osaka-ikuseikai.or.jp/">http://www.osaka-ikuseikai.or.jp/</a>
4	大阪知的障害者雇用促進建物 サービス事業協同組合 （エル・チャレンジ）	〒543-0072 大阪市中央区北新町 2-12 北新町センタービル5F	(06) 6920-3521	(06) 6920-3522	

5	株式会社 解放出版社 営業部	〒556-0028 大阪市浪速区久保吉 1-6-12	(06) 6561-5273	(06) 6568-7166	<a href="http://www.kaihou-s.com/">http://www.kaihou-s.com/</a>
6	清風堂書店 出版部	〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎 2-11-16	(06) 6316-1460	(06) 6314-1600	<a href="http://www.seifudo.co.jp">http://www.seifudo.co.jp</a>
7	社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会	〒105-0003 東京都港区西新橋 2-16-1 全国だばこセンタービル 8階	(03) 3431-0668	(03) 3578-6935	<a href="http://ikuseikai-japan.jp/">http://ikuseikai-japan.jp/</a>
8	財団法人日本障害者リハビリテー ション協会 情報センター「赤いハ イヒール」プロジェクトチーム	〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1	(03) 5273-0796	(03) 5273-0615	<a href="http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/news/books/redhi.html">http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/news/ books/redhi.html</a> E-mail : daisy_o@dinf.ne.jp
9	横浜市 福祉局障害福祉部 障害福祉課	〒231-0017 横浜市中区港町 1-1	(045) 671-3603	(045) 671-3566	[働く・遊ぶ編] <a href="http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/shogai/annai2_pdf/index.html">http://www.city.yokohama.jp/me/ kenkou/shogai/annai2_pdf/index.html</a> [あんしん編] <a href="http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/shogai/annai4_pdf/index.html">http://www.city.yokohama.jp/me/ kenkou/shogai/annai4_pdf/index.html</a>



ピクトグラム【本】



ピクトグラム【図書館】

### 近畿視覚障害者情報サービス研究協議会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2  
社会福祉法人日本ライトハウス 情報文化センター内  
TEL : 06-6441-1068 FAX : 06-6441-1066

# LLブックリスト

## 【読みもの、その他】

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
1 赤いハイヒール —ある愛のものがたり—	LL-ブック -やさしくよめる本-	ロッタ・ソールセン	日本障害者リハビリ テーション協会	活字版 + マルチメディア ディージェー版	1,500	書店	
2 山頂にむかって	LL-ブック -やさしくよめる本-	ステイナー・ アンデション	愛育社	活字 + ピクトグラム	1,575	書店	
3 リーサのたのしい一日 —乗りものサービスのバスがくる—	LL-ブック -やさしくよめる本-	マーツ・フオーシュ	愛育社	活字 + ピクトグラム	1,575	書店	
4 ひろみとまゆこの2人だけのがいしいゆ つ —バスにのってまちまで—	れいんぼうLL-ブック -やさしくよめる本-	大阪府立 金剛コロニー AAC研究班	清風堂書店出版部	活字 + ピクトグラム	1,050	書店	
5 わたしとあなた —愛って性ってなんだろう—		ウツラ・ アンデション	社会評論社	活字	絶版	書店	
6 となりのしげちゃん		星川 ひろ子	小学館	活字 + 写真	1,470	書店	
7 ぼくたちのコンニャク先生		星川 ひろ子	小学館	活字 + 写真	1,428	書店	
8 ぼくのおにいちゃん		星川 ひろ子	小学館	活字 + 写真	1,470	書店	
9 ちえちゃんの卒業式		星川 ひろ子	小学館	活字 + 写真	1,470	書店	
10 ゆいちゃんのエアメール		星川 ひろ子	小学館	活字 + 写真	1,470	書店	
11 学校つくっちゃった!		エコーレ・ エレマン・ブレザン	ポプラ社	活字 + 写真	1,260	書店	

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
12 学校コワイ		文:よつばもこ 絵:かしたあゆ み	自費出版	活字 + 絵	1,050	作者のメール 宛 yotubamoko201 2@gmail.com (10冊以内の 場合は割安)	ASDヴァイレッジ出版でも購入 可 〒849-0937 佐賀県佐賀市 鍋島5-10-4(株)フロム・ア ヴァイレッジ内 Fax:0952-60-5756
13 はつ恋 —LL写真ブック		藤沢 和子/[ほか] 企画・監修	自費出版	活字 + 写真	非売品	大阪市図所蔵	
14 障がいて、なあに？		オードリー・キング	明石書店	活字 + イラスト	1,365	書店	
15 デイスレクシアってなあに？	知りたい、聞きたい、伝えたい、おともたちの障がい	ローレン・E・ モイニハン	明石書店	活字 + イラスト	1,260	書店	DAISY版『デイスレクシアってなあに？』引換券付き
16 エル・チャレンジ —清掃技能テキスト—		大阪知的障害者 雇用促進建物 サービスマニエ 同組合(エル・チャ レンジ)	解放出版社	活字 + イラスト + 写真	630	書店	
17 「DVD」エル・チャレンジ 清掃技能を 学ぼう これであなたも清掃マスター (2008年度)		大阪知的障害者 雇用促進建物 サービスマニエ 同組合 (エル・チャレン ジ)	解放出版社		10,500	書店	
18 ら・クック(楽Cook)		料理:神みよ子 写真:杉田賢治	Sプランニング	活字 + 写真	840	出版者	
19 きみもきょうまくいく改訂版 —子どものための ADHDワークブック—		キャスリーン・ ナドー	東京書籍	活字 + イラスト	1,155	書店	
20 立ち向かおう！ 自分の力で		P & A - JAPAN		活字	300	大阪市図所蔵	
21 毎日の生活	日本人の生活と習 慣 1	アジア福祉教育財 団難民事業本部		活字 + 写真	非売品	大阪市図所蔵	外国人向け生活案内。カン ボジア語ラオス語ベトナム語 併記

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
22 買物と訪問	日本人の生活と習慣 2	アジア福祉教育財団 団難民事業本部		活字 ＋ 写真	非売品	大阪市図所蔵	外国人向け生活案内。カンボジア語ラオス語ベトナム語併記
23 病院や役所へ行く	日本人の生活と習慣 3	アジア福祉教育財団 団難民事業本部		活字 ＋ 写真	非売品	大阪市図所蔵	外国人向け生活案内。カンボジア語ラオス語ベトナム語併記
24 電話・郵便局・銀行	日本人の生活と習慣 4	アジア福祉教育財団 団難民事業本部		活字 ＋ 写真	非売品	大阪市図所蔵	外国人向け生活案内。カンボジア語ラオス語ベトナム語併記
25 町を歩く時	日本人の生活と習慣 5	アジア福祉教育財団 団難民事業本部		活字 ＋ 写真	非売品	大阪市図所蔵	外国人向け生活案内。カンボジア語ラオス語ベトナム語併記
26 学ぶ／働く	日本人の生活と習慣 6	アジア福祉教育財団 団難民事業本部		活字 ＋ 写真	非売品	大阪市図所蔵	外国人向け生活案内。カンボジア語ラオス語ベトナム語併記
27 病院へいこう —けんこうにくらすために（本人向け絵本）		文：すぎのぶよし 絵：たけいようこ	Sプランニング	活字 ＋ イラスト	1,050	出版者	
28 こわいこともあるけれど —グループホームで暮らす—		文：すぎのぶよし 絵：たけいようこ	Sプランニング	活字 ＋ イラスト	1,050	出版者	
29 グループホームで暮らす —これから利用したいと思う人に 人向け絵本		文：すぎのぶよし 絵：たけいようこ	Sプランニング	活字 ＋ イラスト	1,050	出版者	
30 知的障害や自閉症の人たちのための 見てわかるビジネスマナー集		「見てわかるビジネスマナー集」編集 企画プロジェクト/ ト/編著	ジヤース教育新社		1,575	書店	
31 はじめのいっぽをふみだそう！ 障害者福祉サービスでできること：改訂版		東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉協議会	活字 ＋ イラスト	500	書店	

【育成会、当事者団体等の発行物】

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
1 すこやかハンドブック	すこやかハンドブック	今道 隆之 ほか	大阪知的障害者福祉協会	活字 ＋ イラスト	絶版	大阪市図	
2 ぼくたち私(わたし)たちのしゅうらいについて —私(わたし)たちにも言わせて—	元氣のでる本 「手をつなぐ」号外	全日本精神薄弱者育成会 (現:全日本手をつなぐ育成会)	全日本精神薄弱者育成会 (現:全日本手をつなぐ育成会)	活字	絶版	大阪市図	本人たちの作文集
3 ゆめときぼう —私(わたし)たちにも言(い)わせて—	元氣のでる本 「手をつなぐ親たち」号外	全日本精神薄弱者育成会 (現:全日本手をつなぐ育成会)	全日本精神薄弱者育成会 (現:全日本手をつなぐ育成会)	活字	絶版	大阪市図	本人たちの作文集
4 もっともつと —私(わたし)たちにも言(い)わせて—	元氣のでる本 4	全日本手をつなぐ育成会	全日本手をつなぐ育成会	活字	絶版	大阪市図	
5 みらいにはばたこう —北のく(く)から愛をこめて—	元氣のでる本 5	札幌みんなの会	全日本手をつなぐ育成会	活字	絶版	大阪市図	
6 かがやくみらい —北のく(く)から愛をこめて—	元氣のでる本 6	札幌みんなの会	全日本手をつなぐ育成会	活字	絶版	大阪市図	
7 家族へのてがみ	元氣のでる本 7	札幌みんなの会	全日本手をつなぐ育成会	活字	絶版	大阪市図	
8 きいて!!!	元氣のでる本 8	全日本手をつなぐ育成会	全日本手をつなぐ育成会	活字	1,050	出版者	
9 ひとりだちするあなたに —自立生活入門ハンドブック—	自立生活ハンドブック 1	全日本手をつなぐ育成会	全日本手をつなぐ育成会	活字	絶版	大阪市図	
10 わたしにであう本 —じぶんらしく生きる—	自立生活ハンドブック 2	全日本手をつなぐ育成会	全日本手をつなぐ育成会	活字 ＋ イラスト	525	出版者	
11 あなたをまもるほうりつの本(ほん)改訂版 —わたしたちのけんり—	自立生活ハンドブック 3	武居 光 ほか	全日本手をつなぐ育成会	活字	絶版	大阪市図	
12 からだ!!!げんき!? 改訂版	自立生活ハンドブック 4	明石 陽子	全日本手をつなぐ育成会	活字 ＋ イラスト	525	出版者	

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
13 Bonapp・tit(ぼなぺてい) —どうぞめしあがれ—	自立生活ハンドブック ク5	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	写真	630	出版者	
14 すき	自立生活ハンドブック ク6	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	ひらがな ＋ 写真	絶版	大阪市図	
15 いや	自立生活ハンドブック ク7	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会		絶版	大阪市図	
16 食	自立生活ハンドブック ク8	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	写真	735	出版者	
17 あたらしいほうりつの本	自立生活ハンドブック ク9	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	735	出版者	
18 ぼくらのキャリアアップ —上をむいて歩いていこう—	自立生活ハンドブック ク10	河村 万理	全日本手をつなぐ	まんが	525	出版者	
19 ひとりだち	自立生活ハンドブック ク11	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	735	出版者	
20 自分をまもる	自立生活ハンドブック ク12	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	735	出版者	支援者用ページ付き
21 たのしくくらす	自立生活ハンドブック ク13	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会		絶版	大阪市図	
22 Cookおいしい	自立生活ハンドブック ク14	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字 ＋ 写真	735	出版者	
23 Cookヘルシー	自立生活ハンドブック ク15	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字 ＋ 写真	735	出版者	
24 性say生	自立生活ハンドブック ク16	全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	735	出版者	支援者用ページ付き
25 会社へ行こう	職業自立啓発事業 シリーズ	職業自立啓発事 業就労支援専門 委員会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	絶版	大阪市図	支援者用ページ付き

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
26 こくさいれんごうによるわたしたちのた めのきまり —障害者の機会均等化に関する基 準規則—		翻訳:いはらま り こ	全日本手をつなぐ育 成会	ひらがな	絶版	大阪市図	
27 支援費ガイドブック1 —これであなとも支援費つう—		本人活動支援委 員会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	絶版	大阪市図	
28 支援費ガイドブック2 —支援費ってなに!? Q&A—		本人活動支援委 員会	全日本手をつなぐ	活字	絶版	大阪市図	
29 ステージ		全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字 + イラスト + 写真	900	備考参照	年4回発行 A3サイズ8ページ 購読申し込みは各県・政令 指定都市育成会へ
30 ともにつよく —よくわかる世界の本人活動—		全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	絶版	大阪市図	
31 仲間にあいたい —本人がつくった本人活動の本—		本人活動あり方検 討委員会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	1050	出版者	
32 わたし流でいこう —みんななで話そう、これからの暮らし		本人活動推進委 員会	全日本手をつなぐ育 成会	活字 + イラスト	630	出版者	
33 本人と支援者に向けて —自己決定のためのハンドブック		キャンシー・フィッ カー・テリル AAMR(アメリカ知 的障害者学会)	全日本手をつなぐ育 成会	活字	絶版	大阪市図	
34 即(チョー)ほしい!このサーブス!		全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会	活字	1050	出版者	



書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
35 「よくわかる北欧の本人活動」 —北欧会議「ともに くらす よい生活」から		全日本手をつなぐ 育成会	株式会社 大揚社	活字 + イラスト + 写真	1,500	書店	
36 わかりやすい障害者の権利条約 —知的障害のある人の権利のため に—		全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会		735	出版者	テキストCD券付き
37 DVD「わたしの暮らし」		全日本手をつなぐ 育成会	全日本手をつなぐ育 成会		2,500	出版者	図書館への販売は不可
38 改訂版 知的障害者が入所施設では なく地域で暮らすための本 —当事者と支援者のためのマニユ ール		ピープルファース ト東久留米	生活書院	活字	1,575	書店	本人向けの部分はルビあり
39 医療サポート絵カード		大阪府健康福祉 部障害保健福祉 室施設福祉課	大阪手をつなぐ育成 会 (旧大阪知的障害者 育成会)	イラスト	500	出版者	大阪府のサイトから、無料で ダウンロード可 http://www.pref.osaka.jp/kei kakusuishin/kankou/index.ht ml
40 「心をつなぐきろく」(ご本人用)(家族 用)		大阪手をつなぐ育 成会	大阪手をつなぐ育成 会		各100	出版者	育成会のHPからダウンロード も可
41 くらしのほほ絵みノート		くらしのほほ絵み ノート作成会議	大阪手をつなぐ育成 会	活字 + イラスト + まんが	1000	出版者	

【国、自治体等の発行物】

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
1 ホップ君大きくジャンプ	権利擁護ハンドブック ク1	東京都社会福祉協議会権利擁護センターすてつぷ	東京都社会福祉協議会	まんが	絶版	大阪市図所蔵	
2 はじめのいっぽをふみだそう！ —障害者福祉サービスでできること		東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉協議会	活字 ＋ イラスト	500	書店	
3 障害福祉のあんない 働く・遊ぶ編		横浜市福祉局障害福祉部障害福祉課	横浜市	活字 ＋ イラスト ＋ 写真	無償提供	出版者	横浜市ホームページよりダウンロード可能
4 障害福祉のあんない あんしん編		横浜市福祉局障害福祉部障害福祉課	横浜市	活字 ＋ イラスト ＋ 写真	無償提供	出版者	横浜市ホームページよりダウンロード可能
5 はたらくの本：できるかな？どない しよ？		大阪府教育委員会教育振興室障害教育課		活字 ＋ イラスト	絶版	大阪市図所蔵	

【辞書】

書名	シリーズ名	著者名	出版者	資料形式	価格	入手先	備考
1 三省堂 こどもことば絵じてん		金田一春彦・監修	三省堂	活字 ＋ イラスト	3,990	書店	
2 三省堂 ことばつかいかた絵じてん		金田一春彦・監修	三省堂	活字 ＋ イラスト	3,990	書店	

# マルチメディアライブラリー図書入手先一覧（五十音順）

名称	住所	電話	ファクシミリ	URL
1 公益財団法人伊藤忠記念財団 電子図書普及事業部	〒107-0061 東京都港区北青山2-5-1	03-3497-2652	03-3470-3517	<a href="http://www.itc-zaidan.or.jp/">http://www.itc-zaidan.or.jp/</a>
2 有限会社オフィス・コア	〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町5-136-5-402	045-263-1585	045-263-1585	<a href="http://www2.odn.ne.jp/~aac32320/">http://www2.odn.ne.jp/~aac32320/</a>
3 サピエ図書館 (視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」内)	【サピエ事務局】 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2	06-6441-1078	06-6441-1078	<a href="https://www.sapie.or.jp/">https://www.sapie.or.jp/</a>
4 特定非営利活動法人 支援技術開発機構(ATDO)	〒182-0003 東京都調布市若葉町1-1-61-101	03-5384-7207	03-5384-7207	<a href="http://www.normanet.ne.jp/~atdo/about.html">http://www.normanet.ne.jp/~atdo/about.html</a>
5 特定非営利活動法人 大活字文化普及協会	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3 富山房ビル6F	080-4071-9402		<a href="http://www.daikatsuji.co.jp/index.html">http://www.daikatsuji.co.jp/index.html</a>
6 デイジー江戸川				<a href="http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kurashi/volunteer/volunteer/dantai/ichiran/50onjun/tagyo/daisy/index.html">http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kurashi/volunteer/volunteer/dantai/ichiran/50onjun/tagyo/daisy/index.html</a>
7 社会福祉法人名古屋ライトハウス 名古屋盲人情報文化センター	〒455-0013 愛知県名古屋市長区港陽1-1-65	052-654-4521	052-654-4481	<a href="http://www.e-nakama.jp/niccb/">http://www.e-nakama.jp/niccb/</a>

名称	住所	電話	ファクシミリ	URL
8 特定非営利活動法人 NaD(旧 奈良DAISYの会)	〒634-0812 奈良県橿原市今井町1-3-9			naradaisy@gsk.org
9 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 情報センター	〒162-0052 東京都新宿区戸山1丁目22番1号	03-5273-0796	03-5273-0615	http://www.normanet.ne.jp/
10 日本DAISYコンソーシアム	〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1 (公財)日本障害者リハビリテーション協 会情報センター内	03-5273-0796	03-5273-0615	http://www.normanet.ne.jp/~jdc/
11 社会福祉法人日本ライトハウス 情報文化センター	〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2	06-6441-0015	06-6441-0095	http://www.iccb.jp/
12 特定非営利活動法人 デジタル編集協議会ひなぎく	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21-21 丸の内東桜ビル402号	052-953-3250	052-953-3250	http://www.daisy.gr.jp/
13 国立大学法人富山大学 人間発達科学部 森田研究室				http://mmart.edu.u-toyama.ac.jp/ ~moritas/